

北九州港セミナー *in* 東京

Kitakyushu
Action!
動かせ、未来。北九州市

「北九州の港と空港の現在、
そして未来へ」

令和7年10月23日
北九州市港湾空港局長
倉富 樹一郎

本日お話すこと

- 物流のすべてをこのまちで。
- 北九州の港と空港の現在
- 北九州の港と空港の未来

物流のすべてをこのまちで。

►「陸・海・空」物流のすべてをこのまちで。

Kitakyushu
Action!

ひびきコンテナ
ターミナル

田野浦ROROターミナル

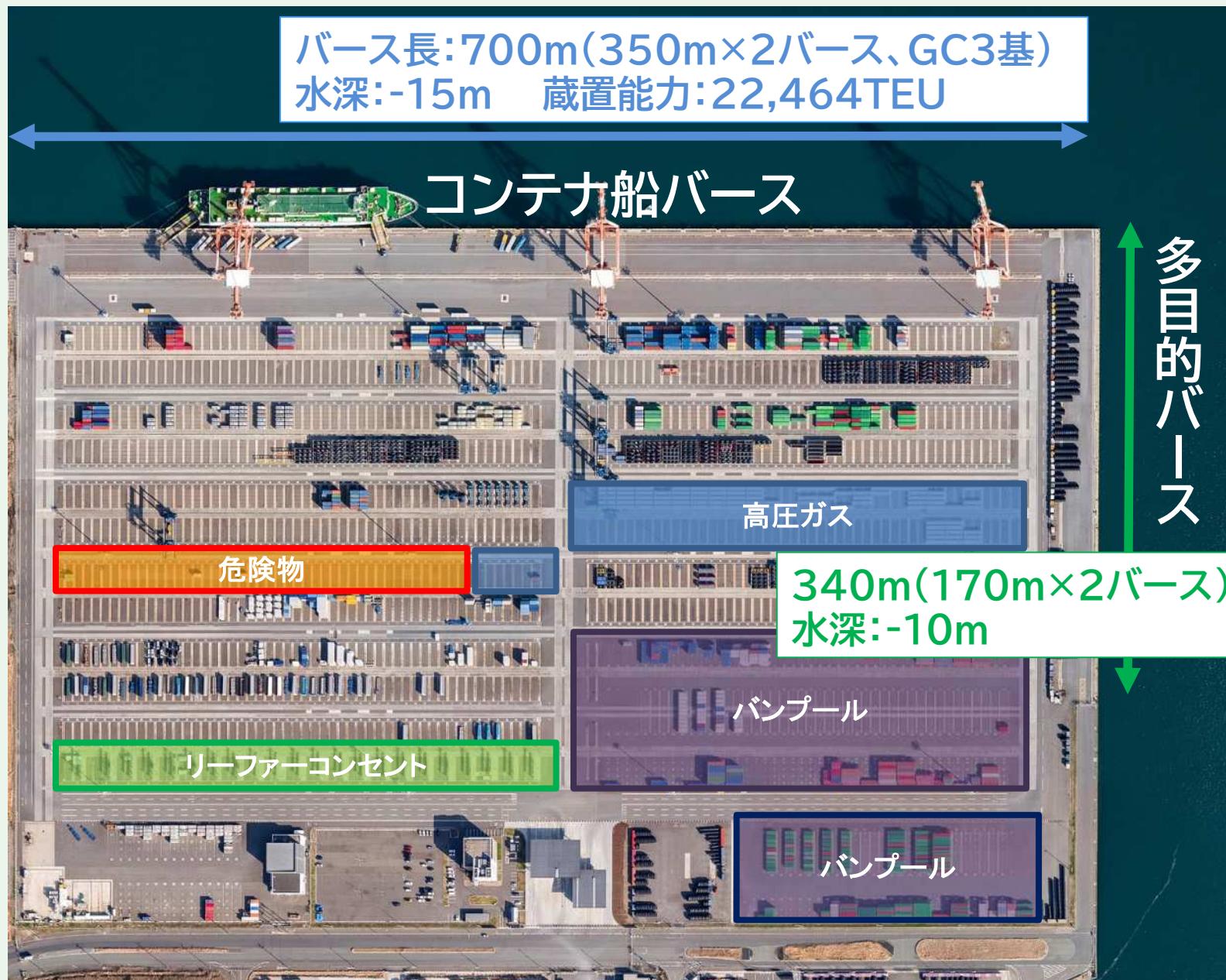
門司(太刀浦)
コンテナターミナル



▶門司(太刀浦)コンテナターミナル【西日本随一のCT】



▶ひびきコンテナターミナル [-15mの大水深港湾]



▶北九州空港【九州・中四国で唯一の24時間空港】

Kitakyushu
Action!

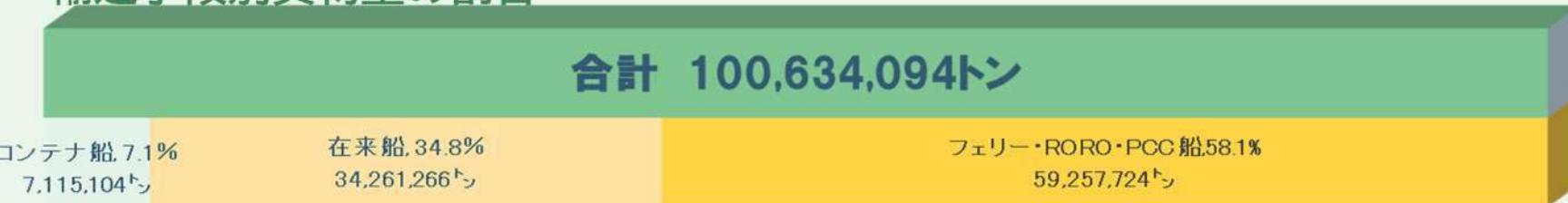


北九州の港と空港の現在

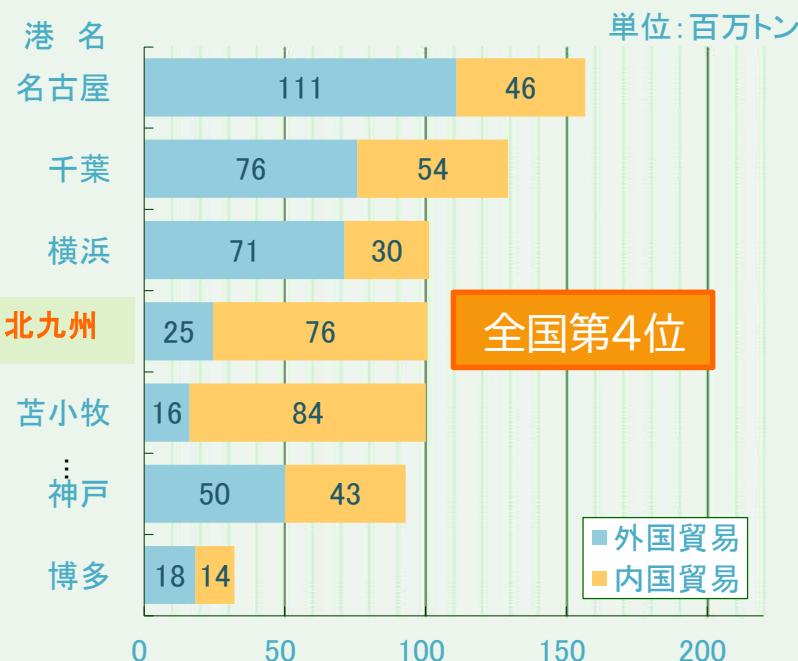
▶北九州港の物流動向【海上出入貨物】

令和6年は**1億63万トン** 全国第4位の取扱実績

輸送手段別貨物量の割合



日本の主要港の貨物量



品種別海上出入貨物(外国貿易)



▶北九州港の物流動向 【コンテナ貨物】

Kitakyushu
Action!

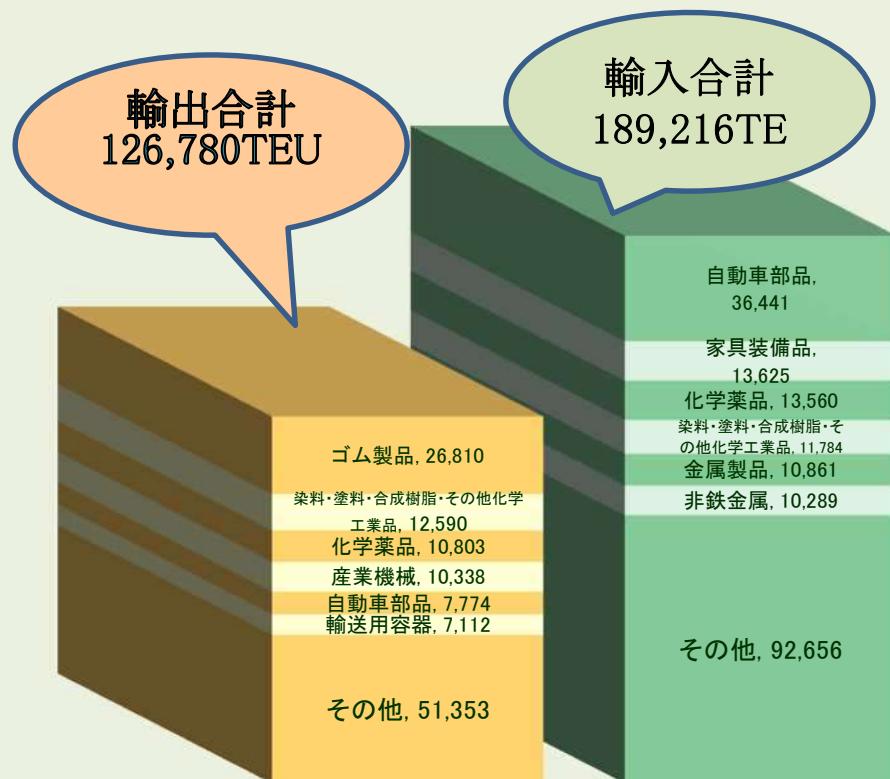
令和6年は**52万TEU** 全国第8位の取扱実績
(うち外貿コンテナ42万TEUは全国第7位)

コンテナ貨物量の推移

〔太刀浦CT：45万TEU
ひびきCT：6.9万TEU〕



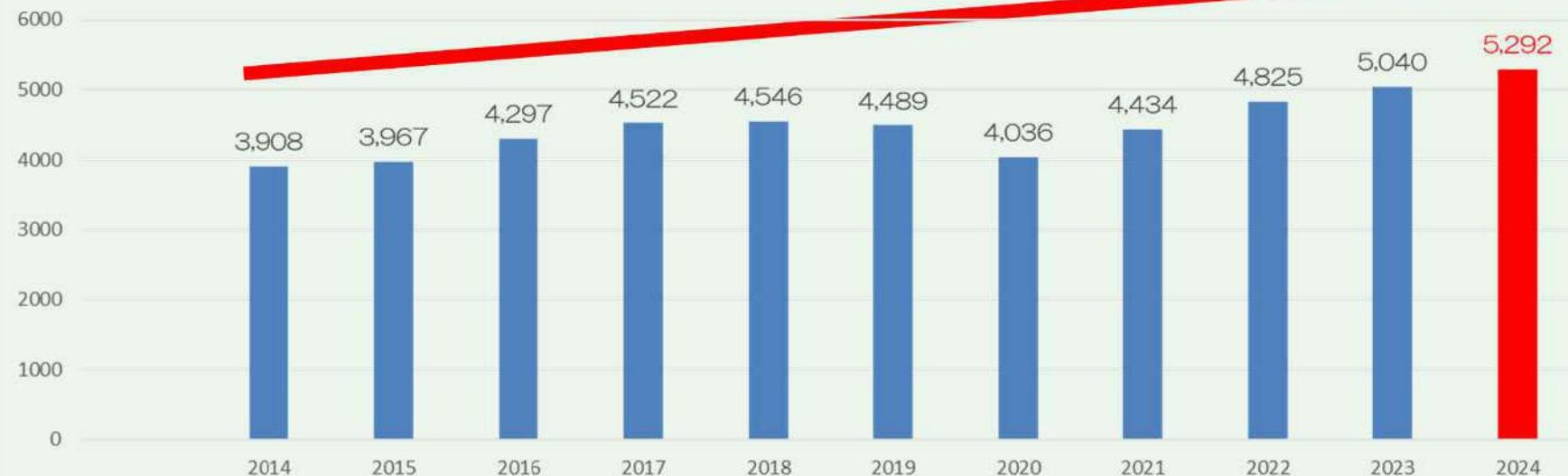
品種別外貿コンテナ貨物(実入りのみ)



▶北九州港の物流動向【フェリー貨物】

令和6年は 過去最高の 5,292万トン 全国第2位

(万トン)



船舶大型化 ⇒ 輸送力25%UP



名門大洋フェリー
「きたきゅうしゅうII」



オーシャントランス
「フェリーびざん」



阪九フェリー
「ひびき」

令和3年7月就航

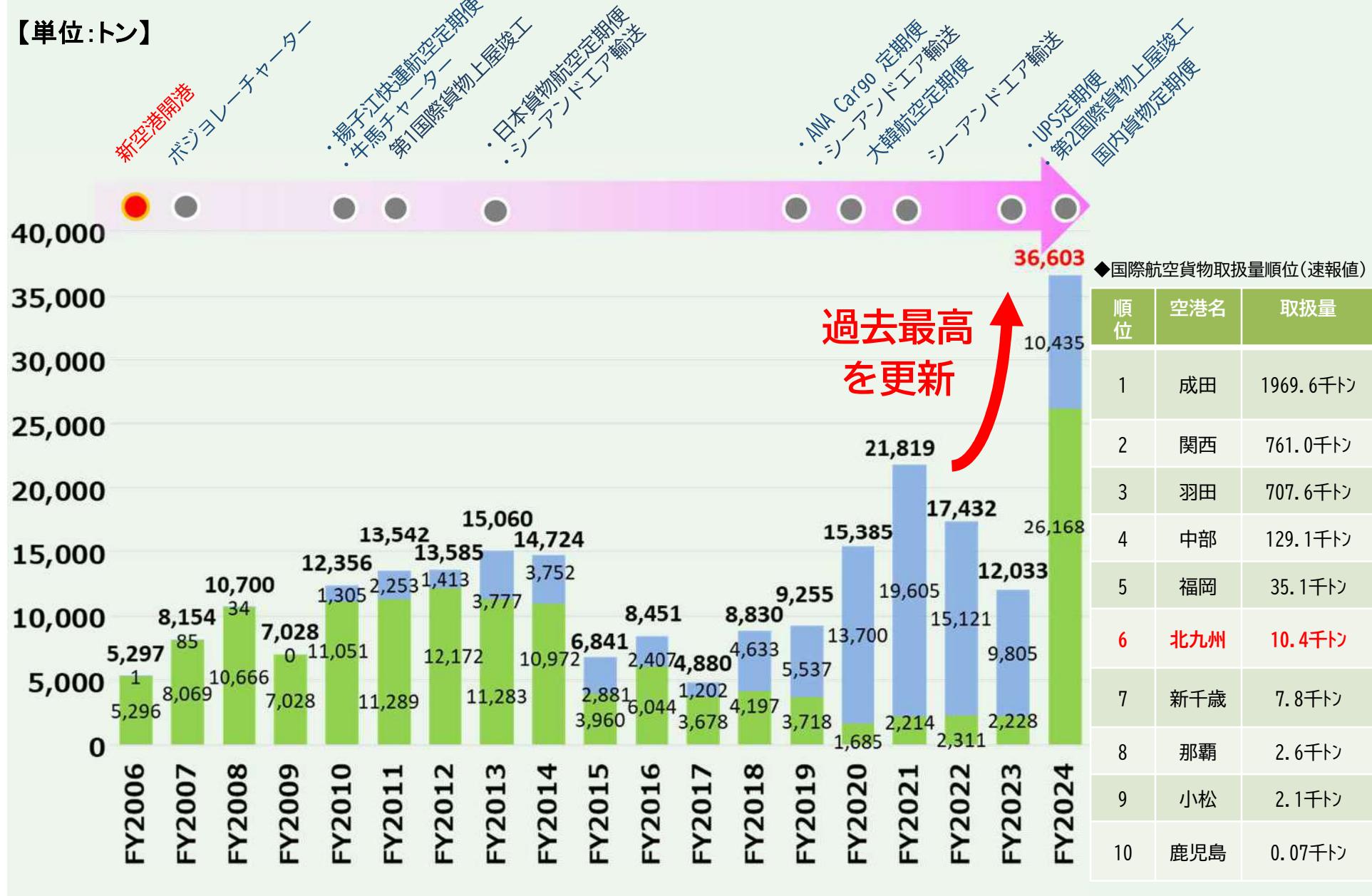


東京九州フェリー
「はまゆう」

▶北九州空港の物流動向

Kitakyushu
Action!

【単位:トン】



▶アジアをシームレスに結ぶ航路網

Kitakyushu
Action!

巨大市場を抱えるアジアに近接

- ・豊富なダイレクト航路
- ・短い海上輸送日数



▶充実した国内海上ネットワーク

Kitakyushu
Action!

国内フェリー

阪九フェリー	新門司 ⇄ 神戸・泉大津
名門大洋フェリー	新門司 ⇄ 大阪南港
オーシャントラ ns	新門司 ⇄ 徳島 ⇄ 東京
東京九州フェリー	新門司 ⇄ 横須賀

国際フィーダー

【日本海航路】

井本商運 ひびき～秋田～新潟～直江津～富山
鈴与海運 門司～博多～酒田～新潟

【瀬戸内航路】

井本商運／鈴与海運 ひびき・門司 ⇄ 神戸

国内RORO

フジトランス／トヨフジ海運	新門司 ⇄ 名古屋
マルエーフェリー／南西海運	ひびき ⇄ 沖縄

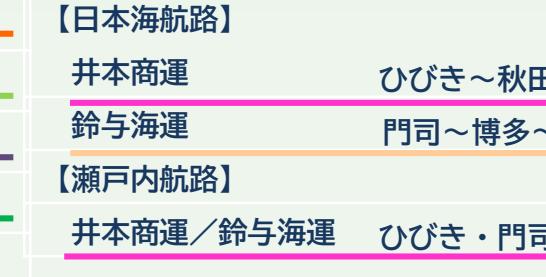
北九州港



物流2024年問題対策

輸送の低炭素化

BCP対策（雪・大雨等）



輸送モードをつなげた一貫輸送が実現！

▶日本海航路の活用で課題解決へ

(従 来)

海外主要港



関東主要港～
日本海側各地(陸送)

釜山港、上海港トランシップ



日本海側各地
(外航ダイレクト)

【問題】日程の大幅遅延

【問題】積雪、大雨で陸路寸断

(現 在)

神戸・ひびきトランシップ



国内最寄港に
海上輸送

海外主要港



門司(太刀浦)外航航路



日本海側各地

✓ 国内TSで迅速に接続

✓ 内航船で最寄港揚げ

輸送ルートの国内回帰で、課題解決・輸送安定化！

▶補助制度【コンテナ・モーダルシフト】

① コンテナ貨物補助…日本海航路を活用した貨物へも補助

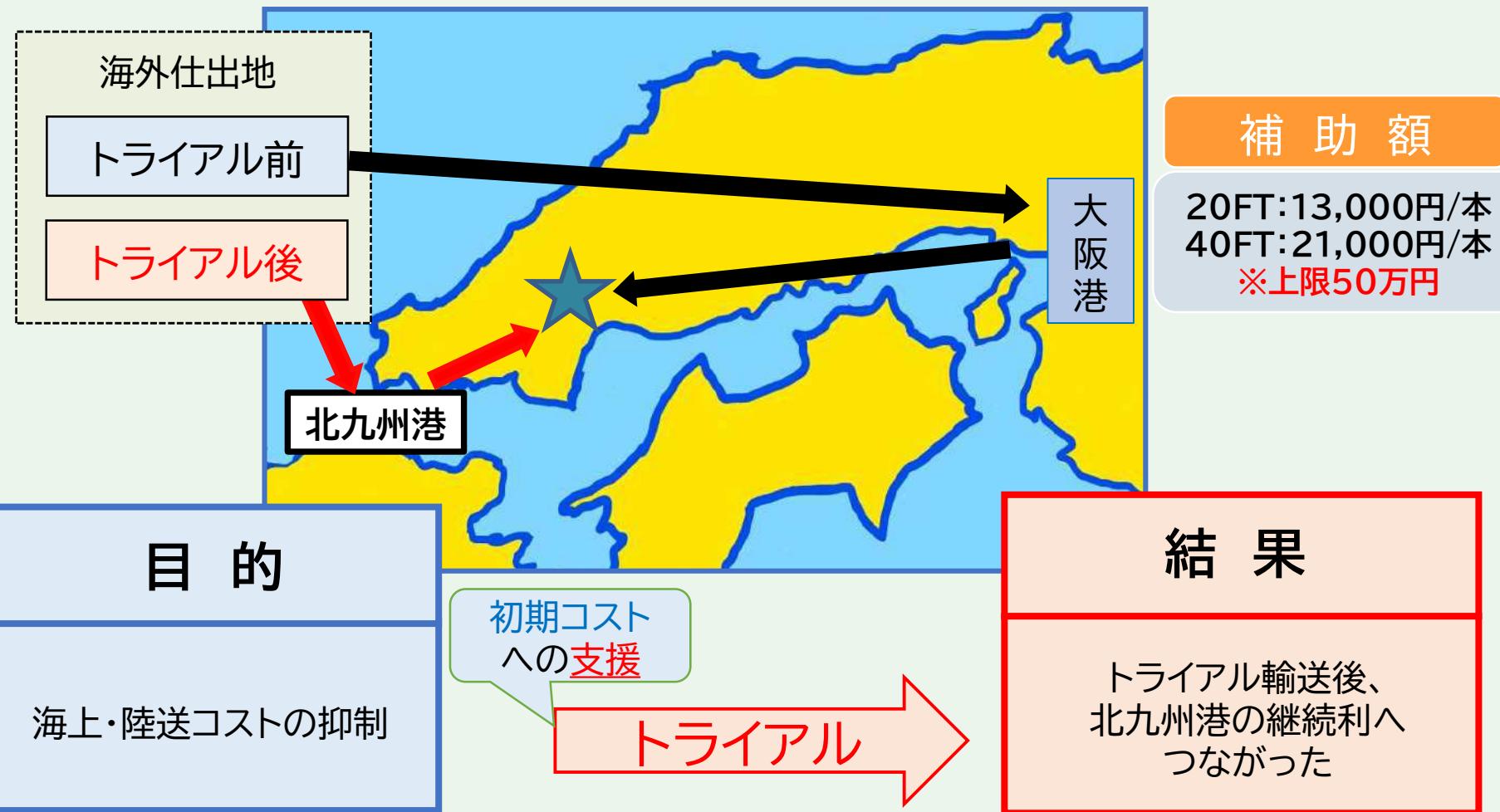
	(1)新規貨物	(2)転換貨物	(3)トライアル貨物
補助対象貨物	工場新規立地や増設等により新たに発生したコンテナ貨物	他港を発着地として輸出入を行っていた貨物を、北九州港利用に転換	新たに北九州港を利用したトライアル輸送を行う貨物
補助対象者	荷主・フォワーダー等		荷主・フォワーダー等
対象ターミナル	太刀浦CT(内貿のみ)・ひびきCT	太刀浦CT・ひびきCT	太刀浦CT・ひびきCT
補助額	20 Feetコンテナ：2,500円/本 40 Feetコンテナ：5,000円/本 ※ひびきCTの輸入コンテナは単価設定を2倍！		20FT：13,000円/本 40FT：21,000円/本 ※上限50万円

② モーダルシフト補助…フェリー・RORO貨物への補助

補助対象貨物	北九州港の定期国内フェリー・RORO航路を利用した新たなモーダルシフト貨物
補助対象者	荷主、貨物運送事業者
補助額	20FT以下のコンテナ、又は8m未満のトラック・トレーラー：7,000円/台 20FT超のコンテナ、又は8m以上のトラック・トレーラー：10,000円/台 ※週末の発着便利用は補助単価に5千円上乗せ ※上限20万円 ただし週末の利用が一定ある場合は30万円。

▶北九州港の補助制度活用例【トライアル貨物】

既存の物流よりも有効な物流改善策はないだろうか?
⇒北九州港を利用してみる(トライアル)



▶多様なニーズに応える危険物倉庫群

■ 半導体・自動車産業における危険物倉庫需要の高まり

課題



社内や近隣地域に
蔵置場所がない

危険倉庫の情報不足
(所在地・規模など)

デポの拡大(BCP)が
必要だが対応が出来ない

港周辺に危険物倉庫を
建設できる用地がない

北九州港の活用



まずは相談

- 市内に多数の民間危険物倉庫群
- ひびきコンテナターミナルの活用(ヤード内蔵置)

▶航空輸送ネットワーク

1 物流ネットワークの構築

■国際貨物定期便（九州・中四国で唯一）

○大韓航空（令和元年11月就航）

- ・仁川－北九州
- ・仁川ハブを経由した世界各都市への輸送ネットワークの構築



○UPS（令和5年2月就航）

- ・深圳－関空－北九州
- ・深圳を経由し最短1～3日で世界各地へスピード輸送の実現



2 海上空港の特長を活かした輸送

○シーアンドエア輸送

- ・海上空港としての特長を活かした船舶と航空による複合輸送
(例) 令和3年11月：人工衛星の輸入
【ルート】

フランス（航空）⇒北九州空港（船舶）



3 新たな物流ネットワークの構築

■国内貨物定期便の就航（令和6年4月）

○ヤマトグループとJALグループ

【運航路線】

- ・東京(羽田・成田)⇒北九州 2.5往復 5便／日
- ・沖縄(那覇)→北九州 0.5往復 1便／日
- ・北九州⇒新千歳 1往復 2便／日
- ・ヤマトホールディングス株式会社が持続的な物流ネットワークの構築に向けて貨物専用機を導入、日本航空株式会社と共同で九州の航空輸送の拠点として、北九州空港へ就航



提供：ヤマトホールディングス株式会社

*機体デザインはイメージです。

北九州の港と空港の未来

▶北九州港の港湾計画改訂

Kitakyushu
Action!

社会経済情勢の変化への対応

- ・デジタル・トランスフォーメーション(DX)の進展への対応
- ・2050年カーボンニュートラル実現への対応 等

北九州港長期構想 令和4年12月策定

北九州港の概ね20~30年後の将来の姿やそれを実現するための施策の方

＜基本理念＞

地域経済と物流・産業を支え、「グリーン」で「スマート」な未来を創造する北九州港
～世界とつながり SDGsを牽引～



港湾計画改訂(目標年次:2030年代後半) 令和5年12月

港湾の開発、利用及び保全に関するマスタープラン

取扱貨物量 12,080 万t目標 (9,857 万t【令和5年確定値】)

＜主な計画内容＞

- モーダルシフトの進展に対応した新規RORO岸壁
- 既存岸壁の混雑解消等のための新規バルク岸壁
- 風力発電関連産業の総合拠点形成のための新規岸壁

▶北九州港の港湾計画改訂

太刀浦地区

太刀浦CT第1ターミナルと
第2ターミナル間の泊地の埋立
を港湾計画に位置付け



新門司地区

新規RORO航路に対応する岸壁等
を港湾計画に位置付け



►カーボンニュートラルポートの取組み

Kitakyushu
Action!



▶北九州空港【滑走路延長】

○滑走路3,000m化へ

【滑走路延長の事業化決定:令和5年3月末】

- ・総事業費:約130億円
- ・事業期間:令和5年度~9年度
令和9年8月末供用開始予定
- ・事業効果:3,000m化により、
大型航空機の北米・欧州長距離運航が可能
→企業の競争力や地域の立地環境が向上

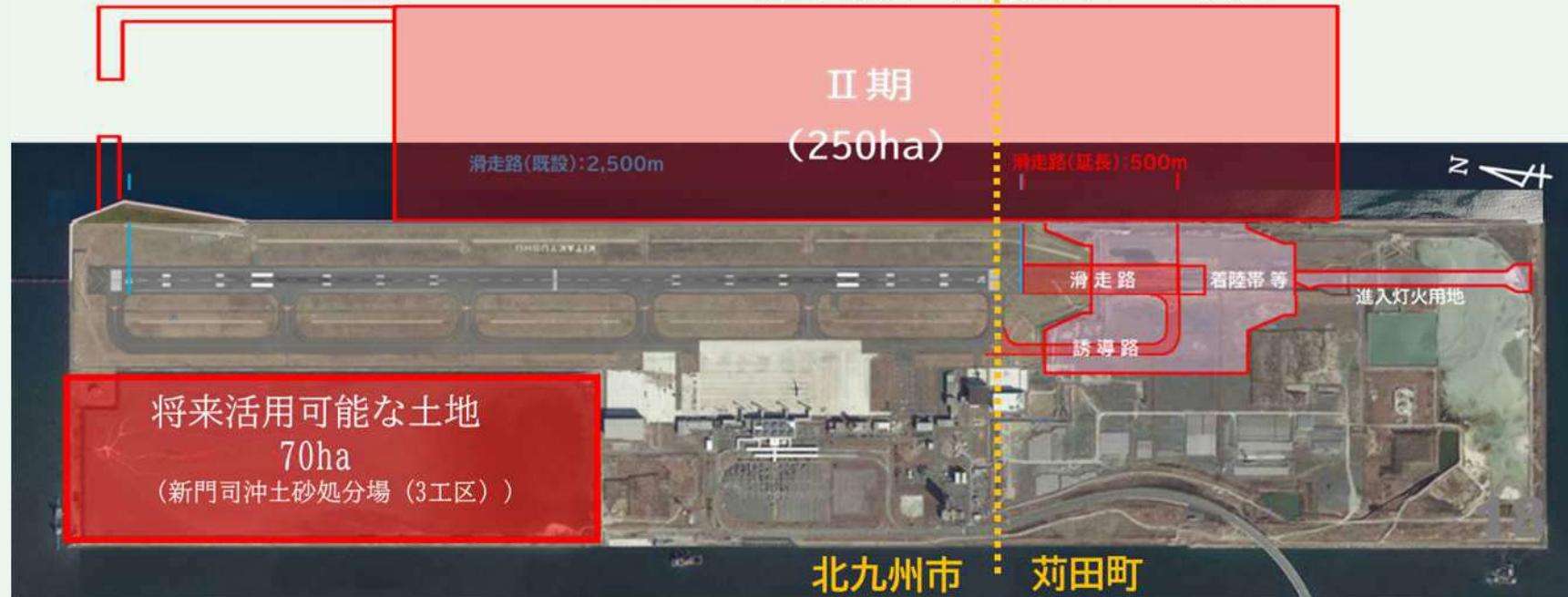
空港	滑走路延長	航続距離圏内の地域
北九州空港	2,500m	東アジア、東南アジア、中国東部、ロシア東部
福岡空港	2,800m	欧州、オーストラリア、北米西海岸
	3,000m	アフリカ、北米全域



▶北九州空港【拡張性】

将来の拡張性

- 関門航路の浚渫土の埋立処分場で70haの広大(全域北九州市域)
- 空港ポテンシャルを生かし、産業集積や物流振興などに活用



北九州空港を起点とした地域活性化

ポテンシャル

- 24時間利用
- アジアに近い
- 充実した高速道路網



成長機会

- 滑走路延長
- 物流機能強化
- 拡張性

地域の発展をけん引するリーディングエアポート

将来ビジョンに掲げる
「物流・交流・産業」の
3つの将来像を実現
地域活性化につながる好循環

▶北九州空港【アクセス強化の取組み】

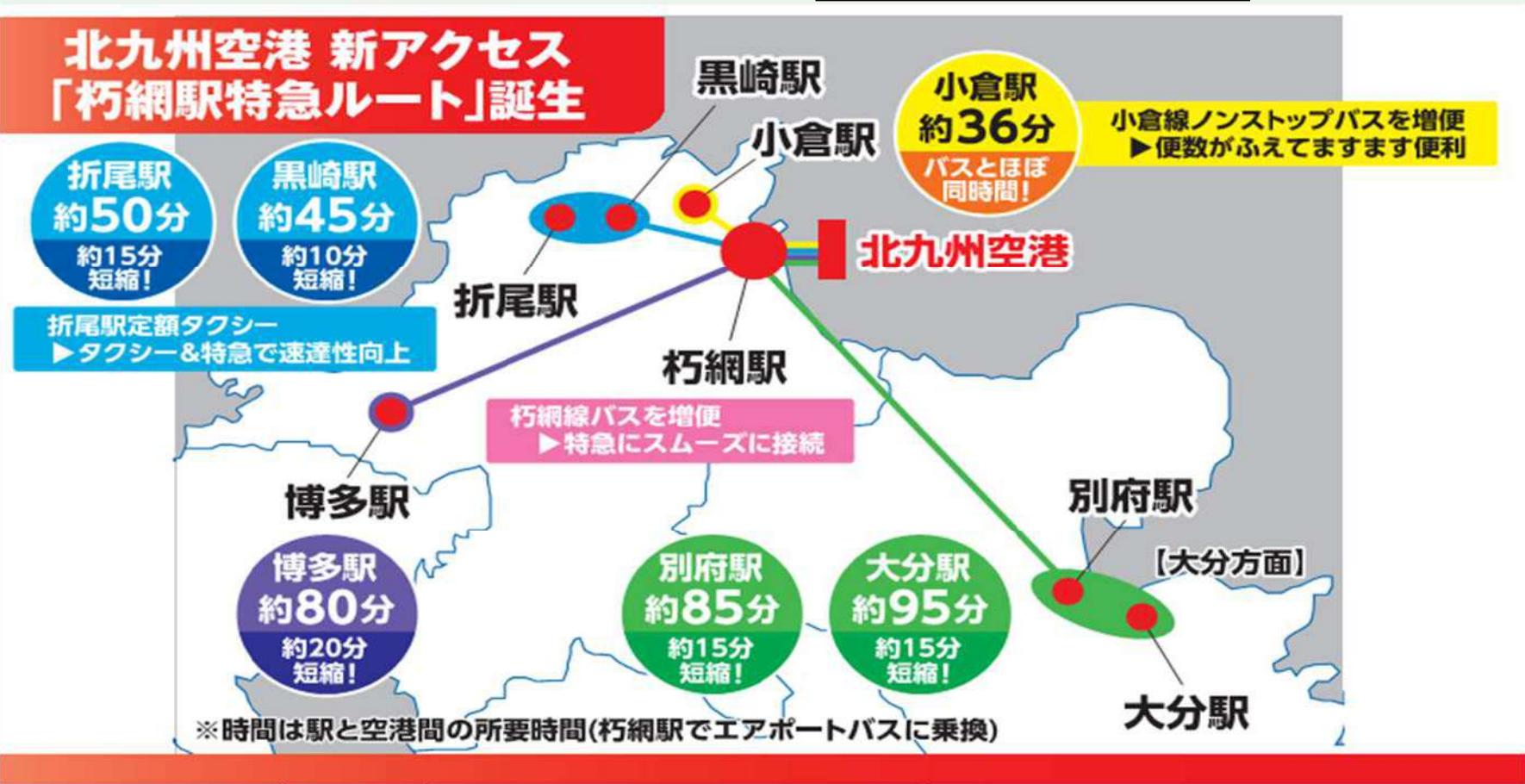
Kitakyushu
Action!

北九州空港の新アクセス「朽網駅特急ルート」が誕生！

空港開港以来の悲願であった朽網駅特急停車がついに実現！（R7.4.1より）

- ・空港最寄り駅である朽網駅に上下合わせて10本の特急が停車。
- ・特急停車に合わせてエアポートバス朽網線を増便（27→40往復）
- ・エアポートバス小倉線のノンストップ便の増便（17→21往復）
- ・折尾駅を拠点とした利用者負担500円の定額タクシーのサービスを開始

今なら折尾・黒崎・小倉 ⇄ 空港間の特急+バスがなんと500円のお得なチケット販売中！



►約6年ぶりの新規路線就航！！

Kitakyushu
Action!



Aero-K
エアロケイ航空

9/30^火より就航

週3便 韓国直行便 (火・木・土曜日)

北九州 ⇄ 清州 チョンジュ

The advertisement features a large image of an Aero-K airplane in flight against a blue sky. The airline's logo, "Aero-K" with a stylized "K" on the tail, is prominently displayed. Below the plane, a traditional Korean landscape with a stone wall and a building is visible. The text "9/30^火より就航" (Starting from September 30th, Tuesday) is displayed in large white characters. At the bottom, a yellow banner contains the text "週3便 韩国直行便 (火・木・土曜日)" (3 flights per week, direct flight to Korea (Tuesday, Thursday, Saturday)) and "北九州 ⇄ 清州 チョンジュ" (Fukuoka ⇄ Cheongju). The background of the yellow banner shows a traditional Korean pavilion at night.

Kitakyushu *Action!*

動かせ、未来。北九州市